

## 第四回総会開催のご挨拶

工学部学友会 会長 立入 勘一



本日ここに、湖風会「工学部学友会」第四総会開催に当り、一言ご挨拶を申し上げます。皆様方には遠路ご多用のなか、早朝より母校滋賀県立大学キャンパス内で、湖風祭開催さなかの総会会場へ、多数お集まり下さいまして、誠に有難う御座います。母校で総会を開催しますようになって早3回目の開催となり、母校での開催に意義深さを覚える次第で御座います。毎回準備に労をとって頂いている大学工学部の先生、学生諸君、湖風会及び事務局職員、学友会の役員の方々さま方に先ずもって厚くお礼申し上げます。また来賓としてご出席賜りました、滋賀県立大学 廣川能嗣学長様、山根浩二副学長様、南川久人工学部学部長様、京都産業21澤田信幸専務理事様、湖風会の矢吹安子会長様にはお忙しい中を有難う御座います。

さて、ご承知のように湖風会「工学部学友会」は、湖風会の支部組織(学部支部)の一つとして、平成23年11月20日(日)に設立総会を開催し正式に発足いたしました。設立の目的に工学部同窓会(「工学部学友会」)は、県立大学工学部の卒業生と在学(院)生、元彦根工業専門学校を含む、県立短期大学の機械・紡織科及び工業化学・色染科の卒業生と、それらに携わって頂いた、教職員の方々との交流と親睦を図り、母校県立大学工学部の発展に寄与することと、会員相互の交流と親睦を図ることにあります。

湖風会「工学部学友会」は、県立大学同窓会「湖風会」の下で活動しており、活動資金については湖風会よりの助成金以外に、特に会費などの徴収は行っておりません。今回も発行しております冊子へ協賛広告の掲載や、また折々の募金や寄付で賄っている次第です。これらにご協力頂きました企業や会員の皆様さまにはここで改めてお礼申し上げます。

なお、「工学部学友会」は設立目的の達成手段としまして、以下の事業を展開しています。

1. 会員と湖風会及び県立大学工学部との連携推進
2. 会員相互の交流・親睦の推進(同好会、名簿管理、HP、FaceBookの維持発信)
3. 県立大学工学部の活動支援(会社訪問活動の継続)
4. 事務局の運営(理事会、会計、会則等)

いずれの事業も積極・活発に展開されておりますが、体制づくりについては、2012.6から工学部の安田寿彦教授を特別理事に迎え、県立大学工学部と一体となって、本格的な同窓会活動が出来てきております。お手元の冊子「工学部学友会」活動状況欄に一端が載っております、ご覧になって下さい。

諸活動が活性するには、クラス会(会員の)を基軸に輪を広げていくことが大切です。コミュニティーの場として、2013.3落成しました湖風会館も5年経過しました、この場の利用も一つでしょう。2015.4には短大開学65周年、県立大学開学20周年の節目の年でした。これらを踏まえてクラス会、各支部活動、湖風会、大学と順に絆を密にして行こうではありませんか。

滋賀県立大学同窓会湖風会  
湖風会工学部支部

## 「工学部学友会」第4回総会

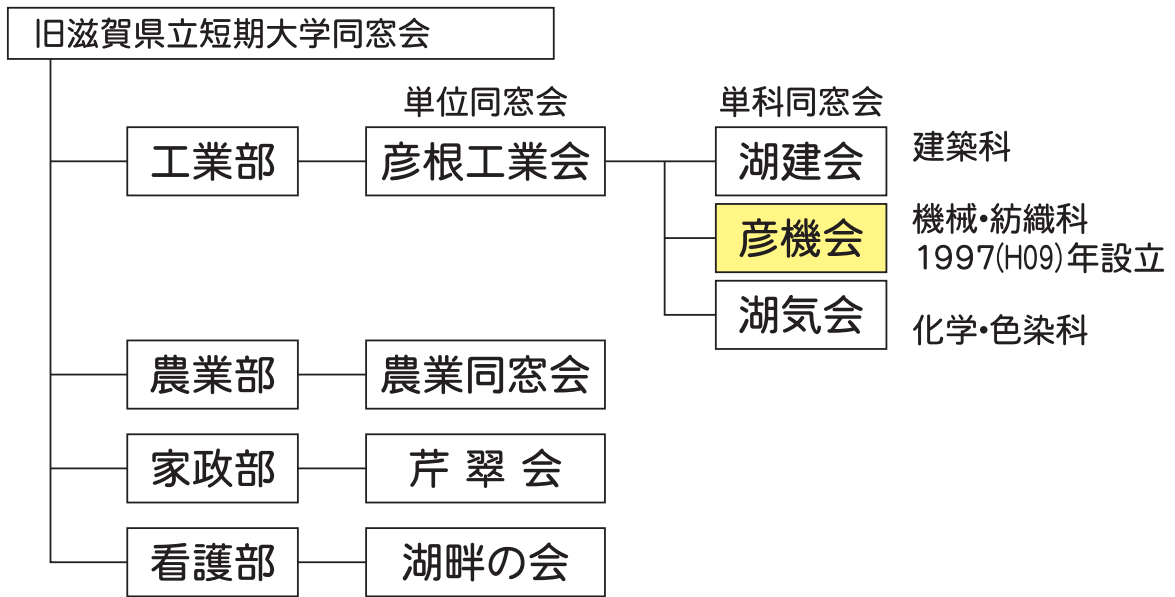
「工学部学友会の歩みと課題」

工学部学友会会長 立入勘一

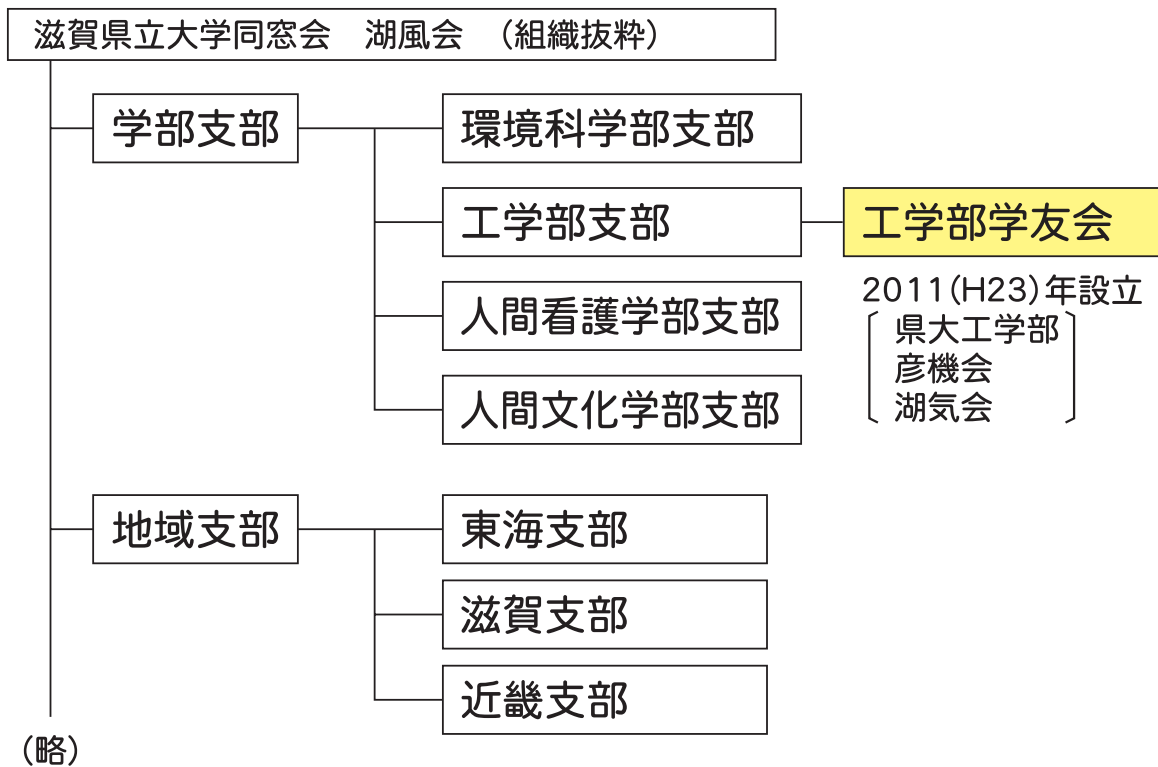
### ご来賓ならびに記念講演の講師紹介

ご来賓	廣川能嗣 様	公立大学法人 滋賀県立大学理事長 滋賀県立大学学長
	山根浩二 様	公立大学法人 滋賀県立大学理事 滋賀県立大学副学長
	南川久人 様	滋賀県立大学工学部 学部長
	澤田信幸 様	公益財団法人 京都産業21 専務理事
	矢吹安子 様	滋賀県立大学同窓会 湖風会会長
記念講演 講師	高崎充弘 様	(株)エンジニア代表取締役社長 モノづくり企業に必要な4つの秘訣 ～ネジザウルスGTの開発から得られた「MPDP」

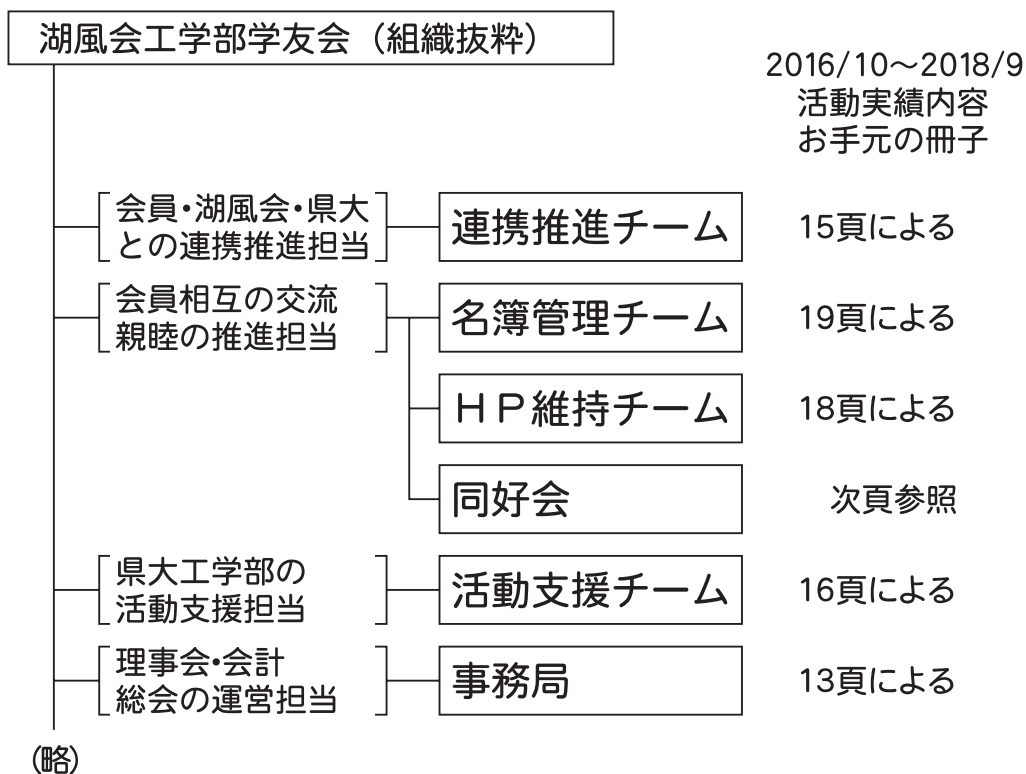
1. 工学部学友会の経緯①



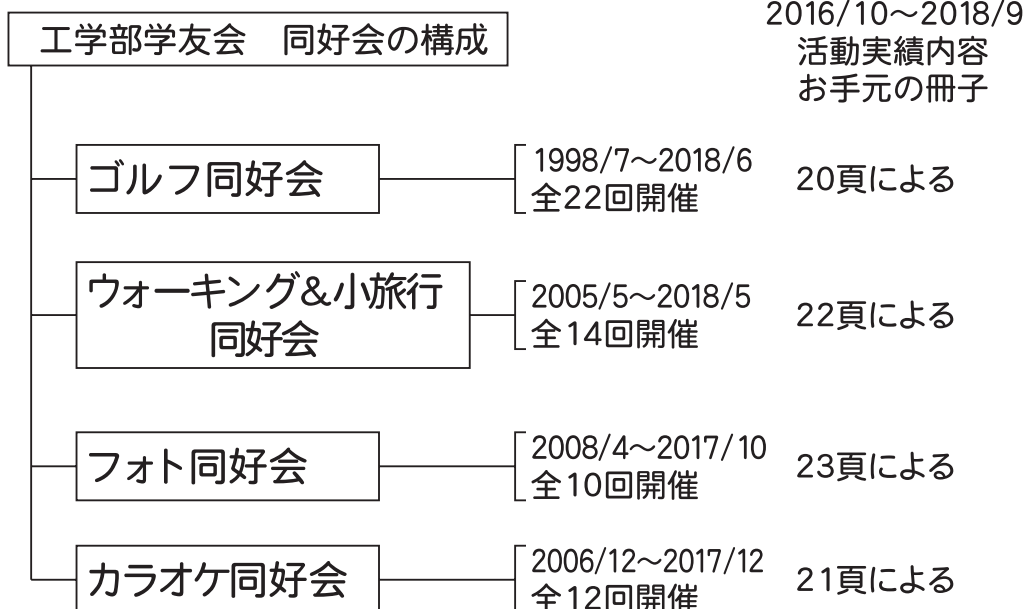
1. 工学部学友会設立の経緯②



## 2. 工学部学友会の組織



## 3. 工学部学友会 同好会活動



#### 4. 滋賀県立大学(工学部)と工学部学友会の対応

県立大学(工学部)		工学部学友会
工学部に電子システム 工学科設置 (2008/4)	工学部支援会 参加企業 募集	工学部支援会への入会 企業の勧誘活動実施
大学と同窓会の連携強化	工学部学友会と連携	工学部教授を学友会特別 理事に迎える(2012/6)
滋賀県立大学の公立大学 法人化 (2006/4)	地域との連携重視	学生と地域企業を結ぶ 会社訪問活動の実施 (就職支援活動)
滋賀県立大学へ新入学生 の確保	県立大学(工学部)の 認知度向上	京都産業21での 県大工 学部展示ブース確保と出 展 鳥人間への資金支援

#### 5. 工学部学友会の課題と展望

##### ①理事会(役員会)と会員の連絡網の充実



クラス会開催の啓もうと、学年幹事(評議員)とクラス員の連携促進

##### ②若い世代の会員は同窓会(工学部学友会) に対する関心が薄い

大学工学部、湖風会にも強固な支援を頂き  
方策を検討

学友会の情報発信(HP FaceBookなど)広  
報活動の充実

##### ③県大(工学部)の新入学生の確保支援

大学の知名度アップに努める

##### ④生涯メールサービスの活用

同窓会としての活用方法を  
湖風会と一体となって探求

